

かさま 社協だより

No.18



編集・発行 2012.8.6

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



もくじ

- ① 平成23年度事業報告・決算報告 2~3
- ② 住みよいまちづくりを目指して 4~5
ボランティアのできること
- ③ 支所だより 6~7
- ④ お知らせ 8

盲導犬とともに笠間稲荷神社参拝

撮影 横堀

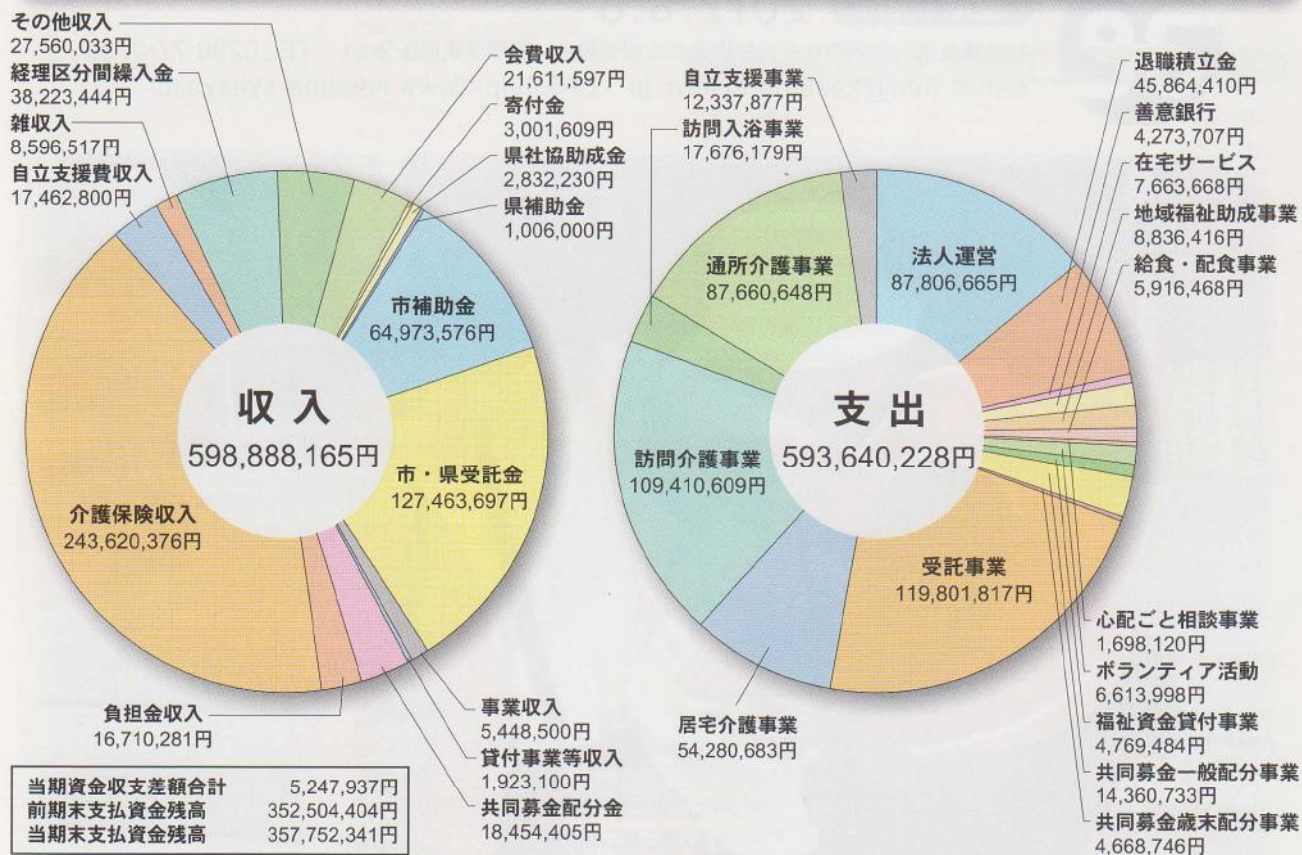


この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

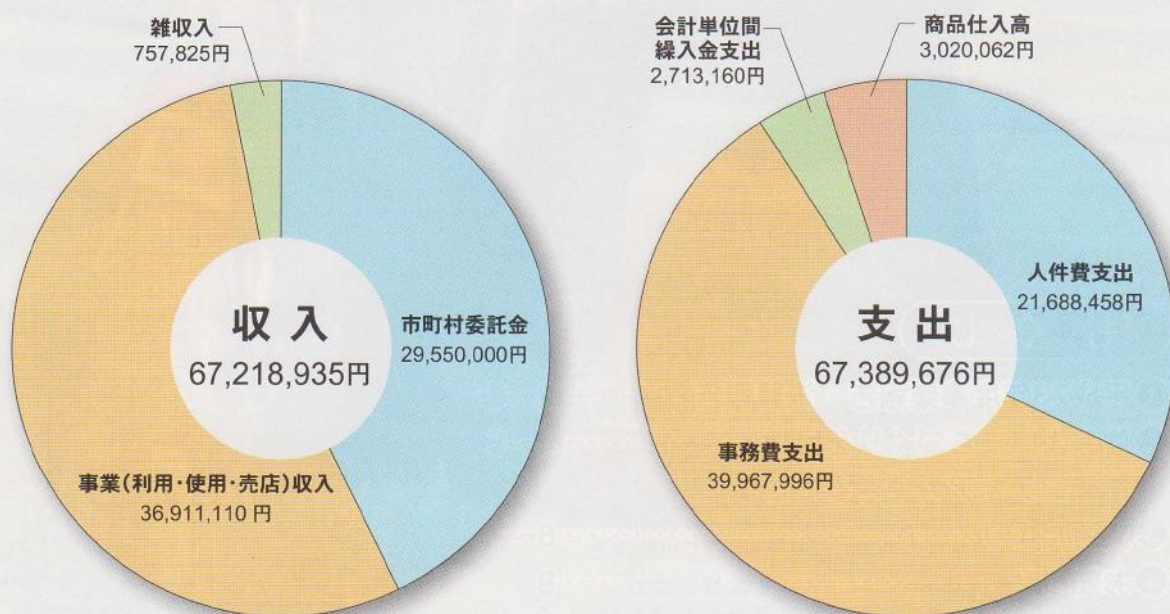
および決算報告



一般会計資金収支決算



いこいの家「はなさか」特別会計資金収支決算





平成
23年度

社協事業報告

法人運営事業

- ・理事会、評議員会、監事会、正副会長会議の開催
- ・部会、委員会の開催・支部(地区)社協との連絡調整
- ・支部・地区社協を理解するための学習会(笠間・岩間地区)
- ・会員会費、共同募金の募集
- ・かさま社協だよりの発行(15号・16号・17号)
- ・各種団体への事業助成
- ・低所得者福祉(小口貸付・生活福祉資金)
- ・心配ごと相談所の運営(相談件数 219 件)
- ・心配ごと相談所合同研修会
- ・法律相談所の運営(相談件数 96 件)
- ・福祉啓発のための研修会

ボランティアセンター事業

- ・運営会議、代表者会議の開催
- ・子どもヘルパー派遣事業
- ・ボランティアリーダー研修会の実施
- ・ボランティアセンターだよりの発行(2回)
- ・児童・生徒の福祉講座の開催
- ・高校生たちの福祉体験学習会
ワークキャンプ 38 人参加
- ・夏休みわくわく体験教室
小学生・保護者 延べ 709 人参加
- ・住民対象の福祉講座の開催
9 講座、延べ 564 人参加
- ・ボランティアサークルの育成
86 サークル 1,356 人が活動
- ・福祉バス運営
利用団体 74 団体 利用人数 2,508 人

児童・生徒ボランティア活動普及事業の推進

- ・市教育委員会・家庭教育学級との連携
- ・災害ボランティア活動
- ・先生方の福祉研修会の実施
- ・福祉事業協力校への事業助成
市内幼稚園、保育所、小・中・高校 42 か所
- ・学校依頼による福祉体験学習に指導・協力 10 校
延べ 970 人参加 ボランティア協力 133 人

善意銀行運営

- ・預託金 3,001,609 円 102 件
- ・物品預託
- ・福祉機器等の貸出しサービス
車いす、福祉車両、点字版、着ぐるみ、行事用 TENT、鉄板、大鍋、ポップコーン機、かき氷機、輪投げ、グラウンドゴルフセット、ギャジッベッド、綿あめ機

笠間市委託事業

- ・地域ケアシステム推進事業
- ・在宅ケアチーム数(72 チーム)
日常生活自立支援事業の推進(利用者 37 人)
- ・在宅介護者交流会、学習会の実施
- ・親子通園事業「つくしんぼ教室」「すずらん教室」「おひさま教室」
登録児数 51 人 開催回数 249 回
- ・家族介護教室 受講生 31 人
- ・在宅福祉サービス
協力会員 140 人 利用人数 延べ 5,069 人
会員総会の開催・会員情報交換会
移送サービス運転者確認講習会
- ・いきいき交流活動通所事業
利用者延べ人数 8,854 人 実施日数 622 日
主なサービス
(健康チェック、趣味活動、レクリエーション等)
- ・軽度生活援助事業
利用者延べ人数 238 人

笠間市指定管理業務

- ・地域福祉センター「友部社会福祉会館」の管理・運営
利用者 28,551 人 利用団体 1,280 団体
- ・いこいの家「はなさか」管理・運営
会館日数 298 日 入館者数 74,482 人
送迎バス利用者 5,721 人
- ・福祉センター「いわま」管理・運営
一般開放日 59 日(毎週木曜日)利用者 746 人
- ・福祉作業所「たけのこ」(友部)運営
訓練日数: 週 5 日 訓練生 18 人
訓練科目: 生活・作業・行事訓練
- ・福祉作業所「あおぞら」(岩間)運営
訓練日数: 週 5 日 訓練生 9 人
訓練科目: 生活・作業・行事訓練

介護保険事業

- ・訪問介護事業(笠間・友部・岩間)
延べ 30,828 回
- ・訪問入浴事業(友部)
利用者 延べ 1,190 人
- ・通所介護事業(笠間・友部)
利用者 延べ 6,850 人
- ・居宅介護事業(笠間・友部・岩間)
利用者 延べ 4,614 人
- ・自立支援居宅事業(笠間・友部・岩間)
利用者 延べ 546 人

くりを目指して

の でき る こ と

市内には平成23年度現在3支所を合わせて86のボランティアサークルがあり、日頃から特色ある活動を行っています。また、東日本大震災では多くの方がボランティア活動に参加し被災者を支援しました。

社会福祉協議会ではボランティア活動を推進するためにサークルを支援するとともに、在宅福祉の充実を図るため様々な事業を行っています。

これからボランティアの行う身近な福祉活動をシリーズで紹介していきます。

訪問カットサービス 利用者を訪問

赤い羽根
共同募金

社協では、在宅福祉事業の一つとして、高齢や障害等により外出が困難な方を対象に、理容・美容師が自宅に向き散髪等を行う訪問カットサービス事業を行っています。

去る6月12日（火）、市内福原在住の井川昭一さんがこのサービスを受けるの取材させていただきました。

自宅にお伺いすると、奥様が出迎えてくださいました。

お会いすると井川さんは83歳とは思えないとても若々しくお元気な方でした。お話によれば、怪我がもとで長年ベ



自宅の居間で

ッドでの生活を余儀なくされているそうです。

この日の担当は市内稲田で理容業を営む坪井幸雄さん。坪井さんは3年前から毎年4回、井川さんの髪を切っているというすっかり気心の知れた間柄だそうです。

坪井さんは、手際良く準備を整えると20分余りで髪を切り終えました。その間、井川さんは、私たちと気軽に会話を交わし、怪我のいきさつなども話していただきました。

坪井さんが温かなタオルで井川さんの顔を拭くと、井川さんは「せいせいした」と、とても気持ちよさそうでした。

最後にドライヤーで髪を整えると再び「ああ、せいせいした」と本当にさっぱりした様子でした。

井川さんにお礼を述べた後別室でお話をお伺いすると、坪井さんは「これからはこういう方が増えていくと思う。体が動く限り協力していきたい」と話されました。また、奥様は「とてもうれしい。ありがたい。感謝しています」と目を細めて語られました。

（生天目）

「全国盲導犬 使用者の会」 開催される

風薫る五月、笠間の地に全国から、盲導犬と共にくらしている人達が38頭の犬と一緒に集いました。

私達ボランティアは、陶芸教室で手ひねりのお手伝いをしたり、稲荷神社の参拝、そして仲見世通りでのお土産選びの目になるなど歩みを共にしながら楽しみました。何より名物のくるみいなりのおいしさには二人でにつこり犬も目を細めていました。

手ひねり体験は、笠間高校の生徒さん達がやさしく手をそえ希望の器の形づくりに、



愛犬をモデルに

自分の手を重ねつつがんばりました。

今ごろは全国に作品が届いているころと思います。協力して作ったみんなのぬくもりがきつと伝わってくれているものと思いきわかい気持ちになっています。

盲導犬と接するのが初めての私達ボランティアは不安もありましたが、勉強会や説明会のおかげでゆとりを持って接することができました。

夕刻、大型バス2台のみなさまを無事に家路までお送りくださるといのがりつつ、見送ることができた時は本当にうれしく思いました。

（久保田）



私たちががんばりました

住みよいまちづ

ボランティア

災害ボランティア

活動に参加して

赤い羽根
共同募金

東日本大震災から1年3カ月が過ぎ、初めて災害ボランティアに参加しました。それまでは、被災地のボランティア活動に参加したいと思ってもなかなかその機会がなく、ついつい先延ばしになっていました。今回参加させてもらい、あらためて被災地の復旧・復興に力を入れなければいけないと感じました。

6月28日の災害ボランティアバス、木曜日ということで、参加者(35人)は、私を含めて、仕事を退職されたと思われる年配の方や女性が多く、現地に着く前は、何かお役に立つことが出来るのかなあと心配になりました。

午前4時、社協からバスは、宮城県東松島市に向けて出発しました。添乗員の岡村さんは、70回もボランティア活動に参加されているとのこと。驚くとともに、石塚観光の社長さんをはじめ皆さんの、被災地への思いに頭の下がる思いがしました。



素足で走れるのはいつのことか...

現地へ向かう途中、高台となった高速道路の右側の水田は、津波で運ばれたガラスなどの細かいガレキが取りきれなく、また、塩害等で稲が植えられない状態になっていました。左側の水田は、田植えも終わって、稲も青々と育っている様子が対照的で何とも言えない気持ちになりました。

5時間かけてやっと活動場所(野蒜海岸)に着きました。12時までの約3時間、海岸のガレキ清掃を行いました。流木等のガレキをトン袋に入れ、長い砂浜を3〜4人で堤防の外まで運ぶのは体力のいることでした。日ごろの運動不足を痛感しました。

しかし、1年3カ月も経っているのに、いまだにガレキが大量に残っているというこ

とに正直驚きました。海にいったんは流れたガレキが、台風や波の影響で再び浜に打ち上げられているとのことでした。これでは、いつまでこの作業が必要なのか、先の見えない現地の人の不安と、ボランティアをもっともっと続けなければいけないんだなあという感想を持ちました。

午後は、1時から3時前まで、東名駅前の土手のシバザクラの草取りをしました。佐和高校の生徒さんが苗を植えたとのこと、若者が頑張っていることに感激しました。

帰路、松島で買い物をしましたが、被災地で買い物をするのもボランティアのひとつと考え、かなり多めの買い物をしました。湾内に点在する島々のおかげで、津波の力も弱まったと聞きましたが、ゆっくり松島見物をするのは出来ませんでした。それは、個人的に来たいと思いました。

午後9時前には出発地に戻りましたが、出発からの17時間、たった1日とはいえ、貴重な体験をさせていただきまし。機会があればまた、参加したいと思います。(藤森)

ちょっといひ話

ストレス
一日決算主義

人は新たな環境に対するとまどいや不安を感じるとストレスが生じます。そんなストレスと上手に付き合っていくためには自分が何に対してどれだけストレスを感じているかに気付き、その上でストレスをセルフコントロールしていくことが必要です。

また、ストレスに対して「日常生活の中ですぐにできるストレス解消法」をできるだけたくさん持つようにします。

たとえば一日15分でもいいので、毎日運動するようにしたり、人と話をするチャンスをつくることでストレスは発散されます。

「運動、労働、睡眠、休養、食事」をバランスよくとって、その日のうちにストレスを解消する「ストレス一日決算主義」を新たな習慣として取り入れるのをおすすめします。(関)

だより



今号では、友部支所の30余年の歴史のある大原支部の活動の様子、笠間支所からは4月から待ちに待った手作りのお弁当を届けることができるようになったこと、そしてボランティア連絡協議会の研修で楽しい1日をすごした岩間支所のことをお知らせします。それぞれの場でボランティアがやりがいをもって活動している様子が伝わってきます。

友部支所

大原支部

「ひとり暮らし

配食サービス」

と地域交流事業

小原公民館の玄関を開けると甘酸っぱい匂いがし、ちょうど鮭のマリネを作っているところでした。

今回の担当は、久保下寺・新宿で「高齢者の食事は食べやすいことが第一だが、調理の工夫と盛り付けによって食べる楽しみを味わえるお弁当作りに心掛けています」と話してくださいました。

出来上がったお弁当に「絵手紙の会」の皆さんによる絵



温もりをお届けします

手紙の上紙を掛けて届けています。

ひとり暮らしへの配食サービスは月一回で、各地区の女性部による手作りお弁当にこだわっています。

その他の活動にも高齢者の生きがい事業が多数計画されています。特に平成19年度からスタートしたグラウンドゴルフは、老若男女誰でも参加できるので大変人気のスポーツです。また、昨年度のゴルフ大会には、10地区18チーム62人が参加し、最高齢者は87歳でした。夫婦、兄弟、親子と幅広い参加により楽しい地域交流が出来ました。

このような事業を通して、この地域には常に誰かが誰かを気にかけ、近からず、遠からずの距離での見守り体制が出来ているように思います。しかし、支部活動も30余年の歴史を重ねてくると、活動内容の見直しの時期にきているように思われます。地域住民誰もが楽しく語り汗を流す場作りと、それを支える人たちが高齢者になりつつある今、次世代にどのような形でいくかが課題です。(稿)

笠間支所

手作り

配食サービス

「さくら」

代表

長谷川美枝子

今年の4月より月1回の手作り弁当を始めました。今回で3回目、無事に配食することが出来ました。

私達13人は、最初からすんなりと決まったわけではなく「女性の食事学講座」を受け修了生を中心にボランティアで食事作りをしている人達が集まりました。

これまで、管理栄養士の小澤先生の指導のもとに杜協の皆さんと私達で試験的にお弁当を作り、試食を繰り返しながら、少しでも満足してもらいたい気持ちで仕上げていきました。

毎月第2金曜日、笠間公民館の調理室から90食のお弁当を皆さんにお届けする運びになりました。

配食グループの名前も「さくら」と決まり、私達同様、



かけ紙も手づくりで

これを機会に新しく配送ボランティア7人も加わり、旧笠間地区に在住の、70歳以上のひとり暮らしの方に心の込めった手作りの弁当をお届けしたいと思っています。

私達は、まだまだ勉強することも多く、不安な気持ちもありますが、私達が作るお弁当を楽しみに待っていてくれる方々を励みに頑張っています。



支所

岩間支所

ボランティア 研修会開催

社協ボランティア連絡協議会岩間支部では、7月3日にボランティアの方々相互交流を目的に45人の参加により実施しました。当日は曇り空のなかバスを利用し、研修場所は、潮来市・神栖市方面にかけました。

最初の訪問先は、愛友酒造(株)(潮来市)です。文化文政年間に酒造り工程の説明と蔵元での酒造り工程の説明と見学をして、メーカーならではの利き酒を堪能し、それぞれに土産物を買いました。また、昼食は鹿島セントラルホテルの15階で風光明媚なレストランでのデザート付弁当でした。

午後からは月のマークでおなじみの花王(株)鹿島工場(神栖市)にて会社概要の説明を受けました。工場は社員280人

で生産品目は家庭用洗剤などの製品中間原料や工業用製品製造が主体とのこと。その後、広い敷地内の工場内をバスで移動しての見学や洗剤実験などを体験、工場の中には社員全員や退職した人の名札付樹木が敷地内に緑化の森をつくっていました。また、今健康指向から注目をされている茶カテキンによる健康機能飲料ヘルシア緑茶の開発・製造も当社とのこと。世界29の地域にグローバルに展開中の企業グループでした。



(鬼澤)

社協からのお知らせ

介護保険 事業所を 統合します

3市町が合併して6年が過ぎました。この間、友部支所と岩間支所の訪問入浴介護事業の統合や、昨年の大地震による建物への被害で笠間支所のデイサービスを廃止するなど若干の組織の変更があったものの、笠間市社会福祉協議会の介護保険事業はそれぞれの地域で従来通りの形で活動してきました。



新住所 笠間市笠間字権現 4364-2

現在

友部支所

- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護事業所
- ・訪問入浴介護事業所
- ・通所介護事業所

笠間支所

- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護事業所

岩間支所

- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護事業所

今後

友部支所

- ・通所介護事業所

介護事業所

- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護事業所
- ・訪問入浴介護事業所

しかし本市の介護保険事業計画の基本目標のひとつである「充実した介護を受けられる生活介護サービスの基盤整備の推進」に取り組むため、この度3支所ごとに分かれて活動している事業所を一カ所に集約することといたしました。(なお、通所介護事業所は現状どおり)

今後は旧市町の枠を超え、3地域の事業所が長年培ってきたそれぞれの特色を出し合いながら、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、一人ひとりのニーズに応じたサービスの提供になお一層努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお新介護事業所は平成24年10月に完成の予定です。

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成24年3月1日～平成24年6月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

使用済切手	セントラル医学検査研究所、 川野輪 優子、かいつぶり社、 旭エスケービー、秀芳会笠間支部、 飯田 清一
紙おむつ多数	小山 茂
エコキャップ多数	船橋 成子、山口 進、いわま保育園、 おしのべ保育園、めくみ保育園、 内桶 勝弥、笠間市立岩間中学校生徒会 須藤 せつ子、てらざき保育所 渡邊 和子、大沢保育園、森田屋、 入江 勇太、興野ダンスアカデミー、 土師地区社協、いわま保育園、 菊地 ヤス子、すみれ幼稚園、 グループホーム花木木、いなだ保育所
エコキャップ多数、ブルタブ多数	笠間市立岩間中学校生徒会、 笠間市立友部小学校児童会、 下安居婦人防火クラブ、梅崎 とく子 佐白の館、(有)伊藤石材工業
ブルタブ多数	笠間市立中央小学校、おしのべ保育園、 かさまグリーンハウス
使用済み葉書	佐藤 満州夫
使用済み切手、使用済みはがき	青葉町長寿会
使用済み切手、テレホンカード	ガールスカウト茨城県第30団
古切手3715枚	劇団ハイビスカス座
エコキャップ、使用済み切手多数	青木 よし、くるす保育所
ブルタブ、エコキャップ、使用済み切手、文房具	笠間市立友部第二中学校
はがき 20枚	赤沢 三男
切手、はがき多数	ありんこ、笠間幼稚園PTA
タオル多数	入江 照男
タオル、紙おむつ等多数	山田 和子
ストマ	川俣 満
古本	佐々木和加代
文房具(ノート・鉛筆・筆箱)多数	のざわ化粧品
靴 多数	豊田はさきの店
浴衣48枚 タオル・シーツ多数	(有)海老屋旅館
車いす1台	片岡 啓一

醤油6本	塩畑 孝子
煎茶多数	橋本 祐一
しいたけ1kg・切干し大根1kg	安達 まつ
梅干し7kg	仲村 三枝子
丸大根10kg・ジャガ芋10kg・ネギ15kg	美留町 文男
キッチン用品、タオル等多数、米5kg、米30kg、台所用品、 エコキャップ等多数	匿名

金 銭

さくら幼稚園PTA	¥20,000
稲田中31年卒(31会)同窓有志	¥12,614
笠間語り部の会	¥8,000
劇団ハイビスカス座	¥12,650
日本敬神宗祖自修団	¥18,500
株式会社 ダイナム 信頼の森	¥64,978
ごみを考える会	¥3,000
青葉町長寿会	¥36,342
栄納税組合	¥4,648
北川根地区グラウンドゴルフ同好会	¥23,700
プラチナハッピーサークル	¥57,496
飯田自動車(有)	¥11,843
旧岩間町民生委員・児童委員協議会OB会	¥345,540
大澤きよい	¥20,000
昭和31年度(第10回)稲田中学校卒業生同窓会一同	¥32,230
東日本震災チャリティ(笠間市内のために)	¥25,643
やま里倶楽部	¥20,456
笠間市更生保護女性会友部支部	¥20,000
ボランティアサークルさくらんぼ	¥40,000
堀川 玉枝	¥150,000
片岡 節男	¥20,000
青木 勇一	¥25,500
江田 洋子	¥200,000
常井 鞠代	¥1,599
匿名 12件	¥49,740

広報委員を紹介します

任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日

番号	地区	氏 名	備考	番号	地区	氏 名	備考
1	笠間	入江 勇太		7	友部	藤 森 博 夫	新任
2	笠間	飯 野 千賀子	新任	8	友部	鈴 木 征 夫	
3	友部	関 令 子		9	友部	崎 敦 子	新任
4	友部	生天目 洋一		10	岩間	久保田 満 子	
5	友部	横 堀 義 一		11	岩間	鬼 澤 正	新任
6	友部	調 朝 幸	新任				

大地震、津波、原発事故、
そして竜巻や降ひょう災害、
季節外れの台風と、多発する
厳しい現実と向き合う中
で、私達はそれぞれが学び、
働き暮らす地域の運命共同
体の一員です。
今こそお互いを思いやり
助け、助けられる感謝と有
難さの心を大切にあらため
て地域共同体の再構築をし
たいと考えます。
(鬼沢)

編集後記

平成24年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間：13:00～16:00 (受付は15:30までをお願いします)

	笠間支所 (毎週火曜日)	友部支所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
場所	旧笠間保健所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
9月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・26日	6日・13日・20日・27日
10月	2日・9日・16日・23日・30日	3日・10日・17日・24日・31日	4日・11日・18日・25日
11月	6日・13日・20日・27日	7日・14日・28日	1日・8日・15日・22日・29日
12月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日

法律相談 ※予約が必要になります。お問い合わせください。

笠間支所	友部支所	岩間支所
第3金曜日 10:00～12:00	第1金曜日 10:00～12:00	第2金曜日 10:00～12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

友部支所 0296-77-0730
笠間支所 0296-73-0084
岩間支所 0299-45-7889